

生命いのちの言葉

平成二十七年七月

今日けふ用もちうるところの材木すなわは則ぜんち前ぜん人の植うる所。
然しからば則ぜんち安なんぞ後こう人のためじんに之これを植うえざるを得えん。

二宮尊徳

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉

七月

今日用いている材木は我々のご先祖様が
植えてくださったもの。そうであるなら
ぼどうして我々が未来の子孫のために
材木を植えないことがあるうか。何かを
残さなくてはいけない。

二宮尊徳 (にのみや さんとく)

一七八七〜一八五六年。江戸時代後期の農政家。通称
金次郎。天地人三才の徳に報いることを説く報徳
思想を唱え、農村の復興を指導した。明治以降は
勤勉節約の模範人物として評価されている。

風鈴のさわやかな音色が響くこの季節、皆様の御多幸を心よりお祈り申し上げます

東京都神社庁
<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



伊勢神宮に
参拝しましょう